

ICANN マラケシュ会議報告

AtLarge諮問委員会 (ALAC)

会津泉

ICANN ALAC

ハイパーネットワーク社会研究所

<izumi@hyper.or.jp>

会議風景

ジェットウ モロッコ首相



国際会議場
正面



ALAC-理事会ミーティング



民族舞踊



中央広場

ALAC 機能強化



- 独自のウェブサイト活性化:
www.icannalac.org

- wikiも活用:
 - 会議の議論、記録
 - セルフレビュー

- 問題点も
 - 「ボランティア」のコスト
 - 時間、資金
 - いまの方向で正しいか??
 - 外需の「状況」変化
 - 持続可能?
 - 複雑な三層弘蔵?

アジア太平洋のALS一覧

- Certified as ALS
 - Internet Society Hong Kong Chapter (Dec 2005) (hk)
 - Internet Users Society - Niue (Jul 2005) (nu)
 - Pacific Islands Chapter of the Internet Society (PICISOC) (Jul 2005) (fj)
 - Internet Society of Australia (ISOC-AU) (Mar 2005) (au)
 - Internet Users Network (Japan) (Jun 2004) (jp)
 - Internet Society Vasudhay Kutumbhkum (ISVK)- India (Feb 2004) (in)
 - ISOC Taiwan Chapter (PDF) (Jan 2004) (tw)
 - At Large @ China (Jan 2004) (cn)
 - National Information Infrastructure Enterprise Promotion Association (Jan 2004) (tw)
 - Arab Knowledge Management Society (AKMS) (Oct 2003) (jo/Arab)
- Pending Applications: ALAC to Vote soon
 - InternetNZ (May 2006) (nz)
 - Aotearoa M ori Internet Organisation (Apr 2006) (nz)
 - Hong Kong Internet Forum (HKIF) (Mar 2006) (hk)

RALO 形成、進展中

● APRALO:

- Operating Principles ほぼ完成
- ICANN とMoU 交渉へ?
- 次期会合: 9月 APNIC 台湾ミーティングで

● EURALO

- 2006年5月: フランクフルト会議 成功
 - “The Spirit of Frankfurt”
 - 初の EURALO 準備会合
- RALO roadmap作成中
- bylaws and the MoU into 2007.

マラケシュでのRALO会議

- **地域別にRALO準備会議**
 - Latin America Caribbean
 - Asia Pacific
 - Africa
 - 北米:可能性低い
- **RALO Workshop**
 - Chances: strengthen bottom-up structure of ICANN.
 - Challenges: geography, languages, bureaucracy....

ALACが取り組む ポリシー問題

- 既存の課題:
 - WHOIS
 - IDN
 - 新gTLDs
- 新しい課題:
 - 米国政府とICANNのMoU NTIAへのコメント
 - ドメイン名テイスティング
 - ユーザー調査を提案

ALAC のNTIAへのコメント

- ALACは5地域、15名によるグローバル組織。オープン、だれでも受け入れ、透明性、すべての当事者への対等の機会確保が重要。
- ICANNの国際性、マルチステークホルダー、ボトムアップアプローチ、インターネットの個人ユーザーの関与が重要。
- ICANN/IANAサービスおよび個人ユーザーがICANNプロセスに参加できる機会を確保することが重要。
- 現在のマルチステークホルダーの枠組みをより強化し、**エンドユーザーがより積極関与できることが必要**。RALO形成プロセスは進行しているが、参加者へのインセンティブ、とくに**ICANNの意思決定レベルへの直接関与が欠けている**。**個人ユーザーが意思決定レベルに適切な形で代表される方法を見出し、真のマルチステークホルダー枠組みの実現を。**（「アドバイス」では不十分という意味）
- 特定の政府が突出した機能をもってDNSを管理し、ルートサーバーのデータベースやデータの変更に権力を行使すべきではない。
- ICANNはどこか一国の法律に制約されずに存在できる制度的形態を保証されるべき。
- 今後のICANNの枠組みの変更にあたっては、透明性とオープン性の保証を。

AtLargeをめぐる今後の課題

- **AtLarge: 枠組みの見直しが必要に**
 - Advice でいいの? 理事会で投票権? gNSOに?
- **ICANNコミュニティ全体がどう考えるのか?**
 - ポストWSISのなかで
 - 「マルチステークホルダー = 政府・民間企業・市民社会」
- **5つのRALO 当面実現しない**
 - アジア、ヨーロッパ、形はできるだろうが、実質は?
- **費用増大**
 - 今年度、100万ドル超? 当然? 過大?
 - 5つの事務局をすべてICANNで支持?
- **ICANNとの関係**
 - 事務局機能をだれがどうもつ?
 - ICANNの「スタッフサポート」不十分、トラブルも多い
 - 従属? 独立? 支持?

日本のAtLargeは？

- 関心は低い・サポートも低い
 - 無理に続ける必要はない？
 - 意義は増しているから、より積極的に？
- AtLarge以外の人たちはどう思うのか？
 - レジストリー、レジストラー、インターネットコミュニティ、、、

NomComからのメッセージ、、、

- 理事:3名
- ALAC:2名(ヨーロッパ、北米)
- ccSO:1名
- GNSO:1名

- <http://www.icann.org/committees/nom-comm/>

- ICANN 役員募集中 締切り延期:
 - 個人のボランティア
 - たいへんな負荷がかかる

インターネットガバナンスフォーラム (IGF) 10月30日-11月2日 アテネ開催

- テーマ: “Internet Governance for Development”
- サブテーマ:
 - Openness
 - Security
 - Diversity
 - Access
- 全体会とワークショップ
- ICANN/DNS は議論しない

